

私が今年度の学校生活において努力したことは生徒会活動です。

最初私は生徒会に入るかどうかとても迷っていました。何故なら大学受験まで残り約一年だったからです。しかし、先輩からやってほしいと頼まれたこともあり、何か自分の糧となるものがあるかもしれないと思い、文化委員長を務めさせていただくことになりました。

文化委員長として一番頑張ったことは文化週間の活動です。文化週間とは、二週間ほぼ毎日の昼休みに文化部の発表や個人の演奏が行われる期間です。私は普段より早く登校し、放送による周知、ポスター作成、スケジュールの決定、発表者との打ち合わせ、司会など、とても多くの仕事を担当させていただきました。放送や司会などの仕事を熟していくうちに、初めは苦手だった人前で話すことにも徐々に慣れていきました。又、実力テストの前の期間と被っており、とても忙しかったのですが、文化週間の仕事の責任感からか、気分が高まり勉強への意欲も向上しました。その結果この回の実力テストでは良い成績を修められました。

生徒会の活動においては、メンバー全員で協力し、生徒会行事のレクリエーションを考えることから、道具の準備、当日の進行まで精一杯やり切りました。直後の卒業式に向けても、新たな試みとして先生方一人一人に卒業生へのメッセージを書いていたいたり、記念会食で踊るダンスの練習を必死でやりました。全員が忙しい中、全員で活動したため、メンバーの絆も深まったように感じます。

これらの活動の期間中、本当に投げ出してしまいたくなるほど大変なこともありましたが、仲間と助け合い、困難を乗り越えました。今ではそのことが懐かしく、良い思い出として残っています。生徒会の活動は残り数カ月ですが、最後まで責任を持って遣り遂げます。生徒会に入って本当によかったと心から思っています。